

首相答弁巡り差別発言

同性婚などに 秘書官を更迭

岸田首相は4日、LGB Tなどの性的少数者や同性婚をめぐる差別発言をした荒井勝首相秘書官を同日付で更迭しました。訪問先の福井県坂井市で同日午後、記者団に明らかにしました。

↓関連の面

ました。ただ、差別発言に對する謝罪はなく、「見るのも嫌だ」との発言に関しては「ミスリード」だと否定しました。

首相は1日の衆院予算委員会で、同性婚の法制化について「家族観や価値観、社会が変わってしまう課題だ」と否定的な考えを示していました。多くの自治体で同性カップルの婚姻を公認するパートナーシップ制

度の導入が進む中、首相の認識のずれには批判が高まっています。

荒井氏の差別発言は、首相のこの答弁に関する記者の質問に対して飛び出したもの。首相は4日午後、「性的指向、性自認を理由とする不当な差別、偏見はあってはならない」と語りましたが、この問題での首相自身の認識こそが問われます。

首相自身の認識問われる

小池書記局長が批判

荒井氏は3日夜、性的少数者や同性婚についてオフショを前提とした取材に「見るのも嫌だ。隣に住んでいたらやっぱり嫌だ」と発言。「同性婚なんか導入したら、国を捨てる人も出てくる。首相秘書官室全員に聞いても同じことを言っ

日本共産党の小池晃書記局長は4日、群馬県高崎市での党決起集会で、荒井勝首相秘書官がLGBTな発言だ。このような人物を秘書官にした岸田(文雄)首相の任命責任が問われる「

隣に住んでいたらやっぱり嫌だ」と発言したこと言及し、「差別意識と偏見に満ちた発言だ。このような人物を秘書官にした岸田(文雄)首相の任命責任が問われる」

と厳しく批判しました。

小池氏は「同時にこれは、荒井氏一人の問題ではなく、更迭して一件落着くはならない」と指摘。荒井氏が「同性婚なんか導入したら、国を捨てる人も出てくる。首相秘書官室全員に聞いても同じことを言っ

た」と述べていたとして、「首相官邸全体の課題だ」と強調しました。

また、岸田首相が1日の衆院予算委員会で同性婚に「家族観や価値観、社会が変わってしまう課題だ」と答弁していたことをあげ、「荒井氏の発言は、この岸田首相の答弁に関する質問の中で飛び出したものだ。岸田首相自身の家族観や価値観、性的少数者や

同性婚に対する認識が問われている」と述べました。その上で、国連の人権理事会の報告書では日本に對し▽性的少数者への差別の解消▽同性婚の合法化▽政治・経済分野における女性の参加促進などが勧告されていると指摘。「岸田首相が今回の荒井氏の発言を本心に反省するのであれば、この世界の声に答えるべきだ」と訴えました。